

しなの川

題字 末武県女性連合会長

平成19年度

県女性連スタート



新潟県商工会女性部連合会通常総会

平成十九年度県女性連通常総会が、去る五月二十一日（月）午後一時より新潟市中央区「ホテル新潟」において、一〇二商工会から二六六名の出席のもと開催されました。末武県女性連会長と久住県連合会専務理事から挨拶を頂いた後、全員で「商工会女性部の歌」を斉唱し、三上県女性連理事の合図で「誓いの言葉」を唱和しました。その後、司会進行役である塚野県女性連副

会長は出席者数を報告し、本日の総会が有効に成立する旨発表されました。続いて、金子県女性連副会長を議長に選任し、議事の進行に入りました。

提出された第一号、第二号、第三号議案については、慎重審議の結果、満場一致で全議案が承認決定されました。

議案については以下のとおりです。

第一号議案 平成十八年度収支更正予算の承認について

第二号議案 平成十八年度事業報告並びに収支決算の承認について

第三号議案 平成十九年度事業計画並びに収支予算の決定について

続いて、平成十八年度商工会女性部員増強運動における優良商工会女性部の表彰が行われました。部員増強表彰にあたっては、「純増部員数」上位五商工会女性部並びに「増加率」上位五商工会女性部を選定しました。

なお、平成十八年度商工会カード加入促進運動における優良商工会女性部の該当商工会はありませんでした。

受賞商工会からのコメントは二〜三面に掲載してあります。

最後に五十嵐副会長より閉会の挨拶を頂き、通常総会を閉会しました。

総会終了後休憩を挟んで、同日開催していた青年部と合同研修会を開催し、講師には大高衛 前全国商工会青年部連合会会長を迎え「これからの青年部・女性部活動について」をテーマにご講演頂きました。

大高氏は青年部活動に参加した経緯、自社の経営改善と商工会青年部活動、そして全青連会長として感じた商工会青年部・女性部活動のあり方について、熱い想いを持って話されました。

商工会青年部・女性部は商工会の地域振興事業の最前線で活躍することは使命であるが、商工会という自ら企業経営に携わる方々の組織であることの観点から、経営改善のための勉強も積極的に展開して欲しいと出席者に依頼し、講演を締めくくりました。

その後、別室に移動し懇親会が催され、和やかに楽しく親睦を深め、総会の全日程を終了しました。



前全青連 会長
大高 衛 氏

平成18年度 優良商工会女性部紹介

〔純増部員数上位 5 商工会〕

守門商工会女性部	〔11名〕
寺泊町商工会女性部	〔10名〕
大和商工会女性部	〔10名〕
吉田商工会女性部	〔9名〕
弥彦村商工会女性部	〔7名〕

〔加入伸び率上位 5 商工会〕

守門商工会女性部	〔130.56%〕
牧商工会女性部	〔125.00%〕
二和地区商工会女性部	〔123.08%〕
畑野商工会女性部	〔117.24%〕
弥彦村商工会女性部	〔114.58%〕

なお部員増強運動表彰において守門、弥彦村については、重複のため、計8商工会女性部に対して県連会長から表彰状が授与されました。
受賞された女性部の皆様、おめでとうございます！



部員増強運動 優良表彰を受賞して

寺泊町商工会女性部部長

三 上 規 子

長岡市に合併2年目を迎え、“寺泊町商工会女性部ここにあり”という、活発な女性部です。

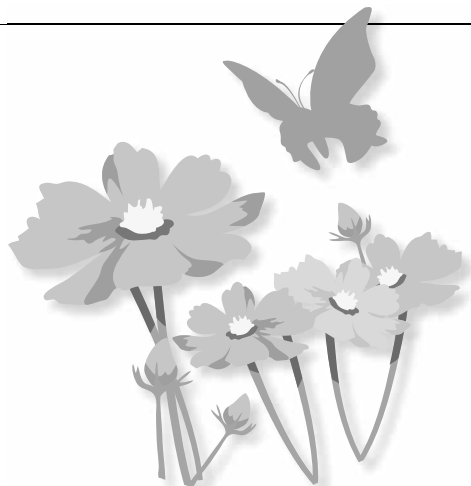
役員会で、部員増強運動に力を入れる事になり、まず、新商工会長になられた長谷川商工会長の奥様に入部いただき、そして地区理事の奥様方にも多く入部していただきました。女性部入部に際し、ボランティア活動、花いっぱい運動、親睦活動と沢山の活動のうち“参加したい活動から出て見て下さいね”とお願いしました。

女性部一同、12人という新部員を迎えられ、心より嬉しく思います。

寺泊町商工会の活動は、長岡市寺泊支所、寺泊観光協会とのタイアップのイベント行事が多く、女性部にも頻繁に協力依頼があります。

部員は快く引き受け、一人ひとりの女性パワーで行事を成功させており、心強く思っております。

今後も、部員増強優良表彰を頂きました事を励みに、寺泊地域活性化の為に、女性部活動を活発に推進してまいりたいと思っております。



部員増強運動 優良表彰を受賞して

守門商工会女性部部長

成 川 マ ツ

この度は部員増強運動において表彰をうけさせて頂きありがとうございました。

2、3年前より部員数が減り、事業を遂行するのに大変であると痛感していたことと、県女連の理事に選任頂いたのがキッカケで部員増強運動に取り組みました。新部員より「色々な事業をやっているのネ」と言われて嬉しく思っています。部員数を減らさないよう協力し合うことと、女性部事業に興味を持っている未加入者の増強運動を今後も進めていきたいと思っています。



部員増強運動 優良表彰を受賞して

大和商工会女性部部長

高 野 和 子

部員増強運動において受賞できました事は、役員の皆様の努力の結晶です。

1名でも多く入会して頂きたく、足を運んでもらいました。また、快く入会していただきありがとうございました。

しかし、会員数が増えても事業に参加してもらえなかったら入会の意味もありません。

そこで新メニューとして、健康づくり講演、運動を3回にわたって行ない計75名の方より参加していただきました。また、地域ボランティア活動として「八色園」での草取り作業は、さわやかな汗の中終了しました。

これからも一人でも多く、事業に参加してもらえるよう努力したいと思っています。



部員増強運動 優良表彰を受賞して

弥彦村商工会女性部部長

辻 ミヤ子

表彰式、「弥彦村商工会女性部」と呼ばれた時、「ハイ」と言った自分の声の大きさに驚きました。此の度の表彰は部員一同心から感謝致しております。弥彦村もご多聞に漏れず廃業や高齢化等で大切な仲間が脱退する現状の中、これではいけないと副部長や事務局と共に総会資料やパンフレットを持ち、とにかく未加入者を訪問しました。事あるごとに部員の皆さんに「身近な未加入者を紹介して下さい、教えて下さい、私達役員がお伺いします」とお願いしていたところ、あの人はどうかしら、この人もどうかしらと情報をもらった結果でした。助けられました。

歴代の部員さんが築き上げたこの女性部を世代交代で、入って下さった若い方々のパワーで更に活性化させていける『光』が見えた気がします。今後も部員一同楽しく元気な女性部を目指していききたいと思います。



部員増強運動 優良表彰を受賞して

牧商工会女性部部長

渡 辺 暁 子

上越市の中でも、部員数は最下位の小さな商工会、商店数も往時の3分の1にまで減ってしまい、元気に頑張っている店なんて、ほとんどなくなってしまったのが私の住む牧区の現状です。

そんな中で部員増強ができて、増加率2位の表彰まで受けたという事は、ひとえに親会の理事の皆さんの協力を得たことです。奥さん達一人残らず女性部に入ってもらいました。表彰状は商工会の事務所に誇らしげに飾ってあります。しぼんで、落ち込んでしまわない為のお守りであってほしいと願います。



今やなくて、 いつやるの？！

吉田商工会女性部部長

宮 路 由 子

昨年奉仕活動の一環で、「体力と健康づくり よさこい事業」を立ちあげたことが部員増につながったことは確かです。体力づくりに、皆こんなに関心があったのだと気づかされました。

やっぱり女性は、明るく元気でなくては…。年令、職業、生活環境が異なる者同士がそれぞれの目的、目標を持って女性部活動に参加する、それでいいんじゃないかなって。

女性部に入部することや、女性部活動に参加することを、もう少ししたら、そのうちに…と考えている皆様『今やなくて、いつやるの?!』

女性部員の皆様との一期一会を大切に、今やれることを今力を尽くす。そんな魅力ある女性部でありたいと願っています。最後になりましたが、部員増強運動2度目の受賞と部員の皆様との縁に感謝申し上げます。



部員増強運動 優良表彰を受賞して

二和地区商工会女性部部長

吉 田 綾 乃

私たちには無縁だと思っていた、この度の優良表彰をいただき部員一同喜びもひとしおです。ありがとうございます。会員が減少するなか、以前より女性部員だけでなく商工会の役員の方々にも声がけをお願いしてきたことが、今回の増強運動に結びついたのだと思います。

少数ながら参加率バツグンの部員の皆さんの知恵をお借りして、楽しく活動できるように手を取り合って行きたいと心新たにしている所です。



部員増強運動 優良表彰を受賞して

畑野商工会女性部部長

小 田 チ ヨ

猛暑の年でございます、部員の皆様、如何お過ごしですか？又、地震に見舞われた地域の方々には心よりお見舞い申し上げます。

さてこの度部員増強運動で表彰を頂き、これも当会の部員の皆様と、事務局のご協力と感謝しております。今年度もお願い、一致団結でやっていますが「なせば成る」と思っている事がなかなか出来ません。

頑張ります!!部員全員の会の盛り上げが地域の活性化にも影響すると信じて、1人でも多くの人達を誘って、ここに商工会女性部の存在をアピールして行きたい!!



2007. 5. 21. ホテル新潟にて

女性部主張 発表大会並びに 女性部長等研修会

六月六日（水）新潟市中央区「ホテル新潟」において、女性部長等研修会が開催され、商工会女性部長等の一二八名が参加しました。

末武県女性連会長、久住専務理事の挨拶の後、女性部主張発表大会に移り、各ブロックから選出された代表者六名から主張を発表して頂きました。（後述）

その後、沖縄県の株ビジネスランド代表取締役 刈辺美紀さんを講師に迎え「魅力ある女性リーダーと経営」今、女性経営者に求められるもの」をテーマに講演会を行いました。刈辺講師は、「かきくけこ」産業（環境ビジネス、規制緩和、食物、健康、高齢者向け）の発展により、働く女性が増加しているが、管理職に就く女性は、欧米比較して少ない。女性の肉体と精神には、お産が深く関係していると思われる。リーダー（指導者）とは、指をさして導ける人の事を言う。



リーダーには、技術や目的・問題解決力、人間性（ヒューマンスキル）

の他に繊細な心が必要とされる。繊細な心とは、人の感情・痛みが分かり、フォローする力を持ち合わせている事を意味する。

魅力ある女性リーダーの基本は自己成長であり、自分がどうなりたいかを常に意識しながら行動し、勉強することが重要である。その行動を変えるためには、活性ホルモンのスイッチである「やるぞ」という気持ち「ボタンを入れる」なければならぬ。時代の変遷の中で最善を尽くし、リーダーシップを発揮できるよう努力して頂きたいと講演を締めくくりました。

その後、講師を交えて懇親会を開催し、情報交換を行った。最後に五十嵐県女性連副会長の挨拶で閉会し、研修会は予定通り終了となりました。



発表者 ひとことメモ

最優秀賞



商工会女性部 主張大会に参加して

神林村商工会女性部

部長 齋藤 レエ 様

この度 神林村が輪番とのこと、部長としての責任を果たすことを第一に考え、自分も省みず、今まで先輩方々が引き継いでこられた事業「愛の鈴づくり」について発表させていただきましたところ、新潟大会で、思いがけなく最優秀賞を頂きました。夢のような事が自分の身に起こるなんて信じられませんが、三十年以上にわたって継続されてきた、先輩の方々又は女性部員の皆様の努力が報われたのだと思っております。そして、新潟県代表として関東ブロック大会の素晴らしい会場で発表させて頂きました、経験と感動は言葉には言い表せない私の宝物となりました。そして、なによりも嬉しかったのは、家族に心から喜んでもらえたことです。この経験が私だけでなく部員の皆さんにもプラスになることがあればと思っております。新潟県から二〇〇名以上の皆さんが参加し、応援していただいたことも力になりました。本当に有難うございました。

《発表者及びテーマのご紹介》

- | | |
|---|--|
| 1 | 中之島町 原田 弘子
「女性部活動に参加して」
「女性部にできること」 |
| 2 | 岩室 太 幸子
「女性部活動に参加して」
「部員増強 地域に活かそう!!」 |
| 3 | 神林村 齋藤 レエ
「女性部活動と地域振興・まちづくり」
「交通安全鈴づくり」 |
| 4 | 妙高高原 森 俊 江
「女性部活動と地域振興・まちづくり」
「特産品の魅力を生かして」 |
| 5 | 佐和田 浅 野 有衣子
「女性部活動と地域振興・まちづくり」
「マドンナ会に育てられて」 |
| 6 | 大 和 大 熊 恵 子
「女性部活動と地域振興・まちづくり」
「おもてなしの心」 |

主張発表大会は、新潟県内の商工会女性部の代表が一堂に会し、日頃の女性部活動及び地域振興発展のよき協力

女性部主張発表大会

者として活動を通じて得た体験や成果・意見を発表し相互に研鑽することを目的として開催されています。

今回は、県内各ブロックの代表者六名の方々より「女性部活動に参加して」・「女性部活動と地域振興・まちづくり」の二点のうち、各自が選んだテーマに従って、女性部活動や地域振興活動を通じて培った経験や成果を基にした、それぞれ特徴あるすばらしい発表をしていただきました。審査委員長の刈辺講師はじめ五名の審査委員による厳正な審査の結果、最優秀賞には、神林村商工会女性部の齋藤レエさんが選ばれました。また、他五名の方々には優秀賞が贈られました。

なお、最優秀賞受賞者の齋藤さんは七月五日（木）に神奈川県横浜市「大さん橋ホール」で開催された、「関東ブロック商工会女性部主張発表大会」に新潟県代表として発表して発表していただきました（五面参照）。

平成19年度 関東ブロック商工会女性部交流研修会

七月五日（木）・六日（金）の二日間、神奈川県横浜市において、関東ブロック商工会女性部交流研修会が開催されました。新潟県からは二一〇名が出席しました。

一日目は「大さん橋ホール」を会場に関東ブロック主張発表大会が開催され、各都県連の代表者による発表がありました。充実した内容で、レベルの高い大会となりました。成績は次のとおりです。

最優秀賞
茨城県 那珂市商工会女性部
増子 文子さん

優秀賞
静岡県 河津町商工会女性部
高川 千里さん

優良賞
山梨県 甲斐市商工会女性部
若月 英子さん



なお、最優秀賞の増子さんは、関東ブロック代表として十月に開催される全国大会（広島大会）へ出場することとなりました。

発表大会に続いて女優の小山明子さんを講師に「いのち輝く二人三脚で乗り越えた介護の日々」と題し、夫である大島渚氏の介護から得た経験等を話題に講演が行われました。

その後、会場を「パンパシフィック横浜ベイホテル東急」へ移動し、情報交換会が行われ、おいしい料理等で他県の女性部の皆様と交流しました。

二日目は、県女性連で「三溪園」「横浜赤レンガ倉庫」を視察し、昼食後に新潟までバスで帰路につきました。

次年度は、新潟県が開催当番となります。県内女性部の皆様に何かとご協力をいただくことになるかと思いますが、よろしくお願いいたします。

関東ブロック商工会女性部 交流研修会に参加して



中条町商工会女性部
副部長 渡邊 素子

会場となりました「横浜港大さん橋ホール」は、船の甲板を思わせるウッド・デッキ仕上げで、ここからの眺望は横浜の海が大きく広がり、まるで船の中に居るような雰囲気でした。

各地区十一名の主張発表は、さすが各県の代表者であり大いに感心させられました。特に印象に残った一つは、創意工夫の中から地元産物を利用して特産品を開発し、その後観光事業にまで発展させ、最近では地元観光客を迎え入れる程にまで発展させた事例です。二つ目は、最初は少人数で始めた川の清掃が、その後、地域住民も一体となり大勢の方が参加する（清流を守る）運動にまで浸透した事例です。

この二つの事例は、正に女性部の誓いの言葉「に掲げてある『地域振興の発展の良き協力者である』を実践し、成功した典型的な事例だ」と大いに感心させられ、それぞれ活発な活動内容に圧倒されました。やはり、会員の協力があってこそ活動ができるのであって、いかに会員の方々から快く参加して貰えるかが重要だということを痛感いたしました。

講演会では、女優の小山明子さんが、夫の大島渚監督が脳梗塞に倒れ、小山

さん本人もうつ病を患ってしまい、死の淵からいかにして立ち直ったかを熱く語ってくださいました。「禍福はあざなえる縄のごとし」、大島氏が倒れてからはこの言葉どおりの生活となつたそうですが、大島氏の病状回復の限界を受け入れてからは、ささやかな事に幸せを感じるようになり『か』感動、感謝 き希望 く工夫 け健康

こ「好奇心」、このような気持ちを大切に日々を過ごしておられるそうです。小山さんの講演からは考え次第で明るく生きていくことができる勇気を訓えて戴きました。

その後、開催された夜の情報交歓会、翌日の元町の視察研修もたいへん有意義なものとなり、このたびの交流研修会の運営、設営等にご尽力いただいた神奈川県連及び同女性連の役職員の方々のお陰と深く感謝申し上げます。

二日間に亘りたいへんお世話様になりました。





女性部活動で 地域活性化を！

白根商工会女性部

加藤 千恵子

私達の白根商工会は、新潟平野のほぼ中央に位置しています。白根は、日本一の大河信濃川と中ノ口川が流れる緑豊かな田園地域です。六月には中ノ口川を挟んで「白根大風合戦」が開催され、毎年多くの観光客でにぎわいます。

白根商工会女性部は、多い時は一〇〇名いた部員も現在では六十七名となり、部員増強に励んでおりますが、なかなか思うようにいきません。今年度は、商工会女性部全国組織化四十周年記念事業で決まりました統一ロゴマークを使って、イベント等でお揃いのTシャツを作りました。六月の大風合戦と併せて行われる、お祭り広場実行部会主催の「大風合戦お祭り広場」で、参加部員全員でTシャツを着て、イベントに参加しました。Tシャツのおかげで、いつもよりも団結力がまして、商工会女性部のPRにもつながりました。

秋になると、部員関係なく、広く皆さんに声を掛け、女性部主催の講演会や講習会を開催しています。中でも、毎年行っている「フライングアレンジメント」は人気があり、部員の方に講師となってもらい、和気あいあいと行っています。

その他にも、花いっぱい美化運動やボランティア活動、視察研修旅行など、様々な行事をしています。

白根は行政合併で新潟市となり、十九年四月には、新潟市の政令市移行により、旧月潟村、旧味方村と三つの市町村で南区となりました。今後は、連携を取り合って、明るく元気に地域活性化につめていきたいと思っています。



は私たちの手で！



人と自然が奏でる 女性部活動

松代町商工会女性部

瀬沼 洋子

松代には、心の琴線をとつとふるわすようなふるさとの道や内外に誇れる棚田など、残したい文化が数多くあります。平成十七年に上越地域から離れ、十日町市となりました。部員数は四十一名ですが、部員同士の交流を中心とした活動を行っています。

松代の郷土料理「いちよっぱ汁」（大根を銀杏の形に切り、ぜんまい・きのこ等を使つたけんちゃん汁）を伝統の味として残そうと毎年七月の松代観音祭に三五〇食を無料サービスし、お客様に喜んでいただいています。又、部員等から寄付いただいた品物で、一〇〇円チャリティーを同会場で実施し、福祉関係に寄付しています。

他に花いっぱい運動による和みの空間創り活動や、研修会の開催による準経営者としての勉強会、新年会や研修旅行（日帰り旅行）、ガーデニング講座による部員相互の交流の場づくり、部員意識の高揚を図っています。

地道に活動を進めながら、ふるさと松代を大切に想い、女性部員で良かったと言える女性部になるよう努めたいと念願しています。





和気藹々と 環境活動に取り組む！

吉川商工会女性部

常山好美

人口五、二〇〇の小さな地域ですが、和気藹々と女性部事業に取り組んでおります。

春には花いっぱい運動で前年に植え込んだチューリップが満開。その後花が終わるとベコニアや、サルビアを植え込み、夏の間通る人の目を楽しませてくれます。吉川は昔から環境保全に取り組んでいて、廃油からエコ石鹸も作成します。化成ソーダを使用するため気をつかいますが、使って喜んで下さる顔を見るたび私達までうれしくなります。良く汚れが落ちます是非お試しください。

今年から試験的に始めた缶拾いクリーン作戦は、四キロメートル位の所を袋に手にゴミ拾い。暑く苦しい道のり、でもおいしいケーキと、飲み物につられ、地域に貢献。

イベントでは六月から八月まで毎月行われる夕遊市。十月には酒まつりにも協力。女性部の売店は売上も順調、人もそこそこ。ただ雨に左右されるのが困ります。

部員増強に関しては、なかなか増強につながらず、減少を防ぐしかない状況です。



女性部 活動事例紹介

あすの地域



笑顔のサービスで 地域振興に一助を

赤泊商工会女性部

渡部 美貴子

赤泊は、小佐渡のぼぼ中央の前佐渡に位置し、赤泊港は、越後寺泊とは最短距離（約四十キロ）で昔から本土との交通の要路として栄えて来ました。

人口は三千足らずの小さな地区で、私達商工会女性部も部員二十七名と、少数ながら商工会活動に積極的に協力し、地域の活性化に取り組んでいます。

活動内容は、四月に花いっぱい運動として

「佐渡花の島プロジェクト」主催の花絵作り（今年の絵柄はアンパンマン）、五月三十日はゴミゼロ運動で地域美化清掃、六月は赤泊観光祭りで売店実施（かにめし、揚げパン等販売、八月一日の海上相撲で有名な「港祭り」には、前夜祭に売店実施（揚げパン、ソーメン等販売）を実施しています。

今年は、女性部のユニフォームを新調し、背中に昨年度決まった「商工会女性部のロゴマーク」をプリントしたTシャツを着用し、民謡流しにも参加し祭りを盛り上げました。

観光客誘致の一助にと、四月から十月迄の毎週土、日曜日には、観光客に少しでも佐渡の印象を良くして頂きたいと、女性部が出来る笑顔のおもてなし。赤泊港で高速船「あいびす」でお帰りのお客様に、海洋深層水で沸かした麦茶と、佐渡金山飴の無料サービスを実施しています。お客様からの「美味しいわありがとう」と言う言葉が最高です。

部員の皆さんには、忙しい中を協力して頂き心より感謝しています。

そして、この真心のサービスが、観光客誘致の一助になって貰えます。



末武県女性連会長が 全国女性連会長に就任される!!



去る五月十五日に全国商工会女性部連合会の第四十一回通常総会において、末武県女性連会長が全国商工会女性部連合会長に選任されました。(任期二年間)

会長就任以来、全国各地の大会や会議等へ出席されるなど、大変なスケジュールの中で全国商工会女性部の顔として、日々活動されています。

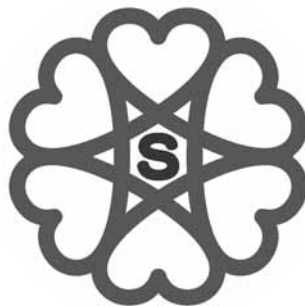
県女性連としても、大変名誉なことでもありますが、県内女性部の皆様からご理解を賜りたいと存じます。

新潟県藤楓協会への募金

今年度の県女性連総会時に参加者の皆様からご協力いただきました募金額の合計は一〇一、四七五円になりました。早々のうちに同協会に届けてまいりました。ご協力大変ありがとうございました。

新潟県藤楓協会は、ハンセン病で心ならずも療養生活を送られる新潟県出身者の方を励まし、温かく迎え入れる環境づくりなど愛の運動を行っています。今後ともご理解とご支援のほどよろしくお願いします。

ありがとうございました



全女性連では四十周年記念事業で作成されたロゴマークの活用を呼びかけております。会議資料や名刺は当然のこと、スタッフジャンパーやTシャツ等、女性部活動に積極的にご利用いただけますようお願いいたします。

ロゴマークの画像データの提供は県女性連事務局(県連合会組織指導課)へお申し付けください。



女性部ロゴマークを
「ご利用ください」



あとがき

去る七月十六日に発生した中越沖地震で被災された皆様にお見舞い申し上げます。

多くの県内商工会地域で、物的被害と風評被害で大きな打撃を受けましたが、女性部員の皆様の一人倍の元気で、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

また、本誌の発行に際しまして、ご多忙の時期に関わらず、ご寄稿等ご協力頂きました皆様方に心から感謝申し上げます。「しなの川」も本号で五十号となりました。

今後も充実した誌面内容になるよう各女性部の皆様のご協力をいただきながら、がんばってまいりますので、掲載希望等がございましたら、事務局までお申しつけください。今後ともよろしくお願いいたします。

編集委員

〈県女性連正副会長〉

末武 栄子・五十嵐芳枝・渡辺 暁子・

金子トシ子・塚野 隆子

〈事務局〉

新潟県商工会連合会組織指導課

「しなの川」担当係

電話 〇二五―二八三―一三一一

FAX 〇二五―二八五―一二五二